

令和5年度 第4回 県居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月20日（火）10時20分から11時30分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 早川大介、本多正明、中西洋一郎、中村恵美子、池田誠子、山田勝夫、
稲垣美世子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 県居協働センター 桐澤祐貴
- 6 学 校 小林延和（校長）、上村仁美（教頭）、中西啓介（教務主任）、
坂口千佳（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳

9 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価
- (4) 夢育やらないかCS加算分の報告

10 会議記録

司会の早川委員から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に司会から、議長に本多委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校関係者評価

議長の指示により、中西教務主任から別紙資料に基づき、児童・保護者・教職員の3者に実施した「学校評価アンケート」の結果と考察、改善方針についての説明があった。

次に、6年生を対象に行った「全国学力・学習状況調査」の結果と考察について、さらに「いじめ防止等のための基本方針」に基づく対応を行った結果と考察、最後に本校のキャリア教育についての説明があった。

上記説明を聞き、委員からは以下の発言があった。

- ・キャリア教育の4つの力について詳しく教えて欲しい。（中村委員）

→キャリア教育において身につけて欲しい4つの力というのは、人や社会、自然と関わりながら自己学習を進める「かかわる力」。自分はどういうことが得意であり苦手なのかなど自分を理

解する「見つめる力」。与えられた課題を最後まで諦めないで取り組む「挑戦する力」。今の学習を次の学習や将来の目標につなげていく「つなげる力」の4つである。(中西教務主任)

- ・子供たちは、4つの力を理解し、意識して学習をしているのか。(中村委員)
 - 小学校から高校まで通して使用するキャリアパスポートというファイルがある。子供たちは学びと活動の中で、自身が身につけたものを記録しキャリアパスポートに積み重ねていっている。1つ1つの授業でも毎回キャリア教育を踏まえた目標を黒板に掲げ、子供たちに意識をさせて授業を行っているので、4つの力というのは身近にある環境にある。(中西教務主任)
- ・「自分から進んで学び、活動する子の育成」で、低学年は、全員が発言できる基盤づくりに取り組んだとあるが、具体的に教えて欲しい。(中西委員)
 - 低学年では、「間違えてもいい」事、「間違えはみんなの学習に生きる良いものである」という事を教えている。また、どの子にとっても答えやすい質問をし、全員に発言の機会を作るなどして、発表に自信を持てるよう取り組んでいる。意見を発言しやすいように、グループワークやペアワークも多く取り入れている。高学年になると、挙手をしての発表を恥ずかしいと感じる子が増えるので、ICTを使い自分の考えを表現するという授業展開もしている。(中西教務主任)
- ・児童に対してのキャリア教育への評価では、低学年が高く、高学年になるにつれて低くなっているのはなぜなのか。(山田委員)
 - 高学年になると深く考えるようになる事と、自分の出来たと設定するラインが高くなるのが原因であると思われる。キャリア教育を進めていけば必ずと高学年の評価が高くないといけないので、今後の課題としてやっていきたい。(中西教務主任)
- ・いじめに関するアンケートでは、1割の子が「困っていることがある」と答えているのが心配である。また、保護者の評価が低いのはどうしてか。(中村委員)
 - 「困っていることがある」と答えた子には、個々に話を聞いている。ほぼ友達関係の悩みであり、職員が間に入り丁寧に解決していつている。問題を放っておくことはなく解決に努めているので安心していただきたい。保護者の評価が低い点については、学校が行っているいじめに対する取り組みの周知がされていないことが原因と思われるので、もっと発信していかなければならないと感じる。(中西教務主任)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、小林校長から、平成6年度学校運営基本方針についての説明があり、委員から次の意見があった。

- ・学校では、LINE やオンラインゲームのいじめの把握が難しいという話が出たが、保護者や地域で何か出来ることはないか。(中村委員)
 - 保護者には、携帯やゲームを子供に持たせる際に、注意すべきことの声掛けやルール決めをして欲しい。また、いじめがあった場合には、子供がすぐに親に話ができるような関係性を築いておいて欲しい。学校で出来る事は、携帯やオンラインゲームの危険性や安全な使い方を

教える啓蒙活動をしていくことだと思う。(小林校長)

・今の子どもたちに将来なりたい職業を聞くと、「分からない」という返事が返ってくる。キャリア教育を受ける事によって将来を意識するようになり、子どもたちに現時点での目標を持って欲しい。

(中村委員)

・キャリア教育について、家庭にはあまり浸透していないと感じる。家庭でもできる事があるので、もっとキャリア教育の取り組みについて発信して欲しい。(稲垣委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長の本多委員より、資料に基づき、学校運営協議会自己評価のアンケート集約結果についての報告があった。

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、上村教頭から、夢育やらまいかCS加算分について報告があった。

11 報告

学校支援コーディネーターの稲垣委員から、今年度の県居サポーターの活動報告があった。

今年度は、17回の県居サポーターの活動が出来た。参加人数は107名。成果としては、今年度県居サポーターが本格始動できたことである。

図書の読み聞かせボランティアは、朝の読み聞かせをこれまで25回実施し、3月まで残り3回実施予定である。毎回約7名の参加だった。図書環境ボランティアは、図書館前の掲示と和歌展示用の掲示作りを14回実施、真淵記念館と県居協働センターへ和歌の掲示・回収作業を年6回実施した。毎回約8名が参加した。

お話メロディーは、6月に1年生を迎える会、7月に怖い話、2月に6年生を送る会の年3回実施した。参加人数は毎回10名ほどだった。

3月に来年度の県居サポーターの募集をする予定である。

12 連絡

教頭から、次回会議は、令和6年5月1日(水)午前10時20分から県居小学校会議室で開催する旨の報告があった。